

-----8月25日-----

※ 今週のアウトルック (8/25~8/29)

先週は、FOMC議事録公開をきっかけに、円安、ドル高が大きく進みました。加えて、米国のマクロ指数なども好調なものが多く、米ドルの早期金利引き上げ観測が強くなっています。

今週は、節目となるラインを抜けられるかどうか、週初のポイントとなりそうですが、全体としては、円安、ドル高が徐々に進む可能性が強いように思います。

先週ドル円は、FOMC議事録公開をきっかけに、円安、ドル高が大きく進みました。加えて、先週発表された景況感や住宅建設などのマクロ指数が概ね好調で、益々金利早期引き上げ観測が強くなってきています。

今週、まずは節目となる104円から105円のラインをクリアすることができるかが、第一のポイントとなりそうですが、全体としては、円安ドル高が徐々に進む可能性が、幾分強いのではないかと考えています。

米ドル円の予想レンジは103.5円から105円です。

ユーロは、ユーロドルの下落が止まらないようです。米ドルの早期金利引き上げ観測により、対ユーロを中心に米ドルが買われてれているようです。加えて、ドイツの景気不透明感や、ウクライナ情勢の悪化など、悪い材料が多いです。

今週、一度は1.31付近まで、下落する可能性が高いように思います。ユーロ円は、その動きと合わせて、レンジ内の動きから幾分下落するの可能性があるように思います。

ユーロ円の予想レンジは135.5円から138.5円です。

ポンドは、ポンドドルの下落状況が本格化してきています。1.65付近までの下落の可能性を考慮する必要がありそうです。

ポンド円もポンドドルの下落がもう一段進んだ場合には、170円を割る可能性を、考慮する必要がありそうです。

ポンド円の予想レンジは168円から173.5円です。

米ドルの上昇トレンドが本格化しそうですが、今週は一休みとなるのか、

それとも、もう一段ドル高が進むのか、週初の調整度合いにも大きく左右されそうです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。